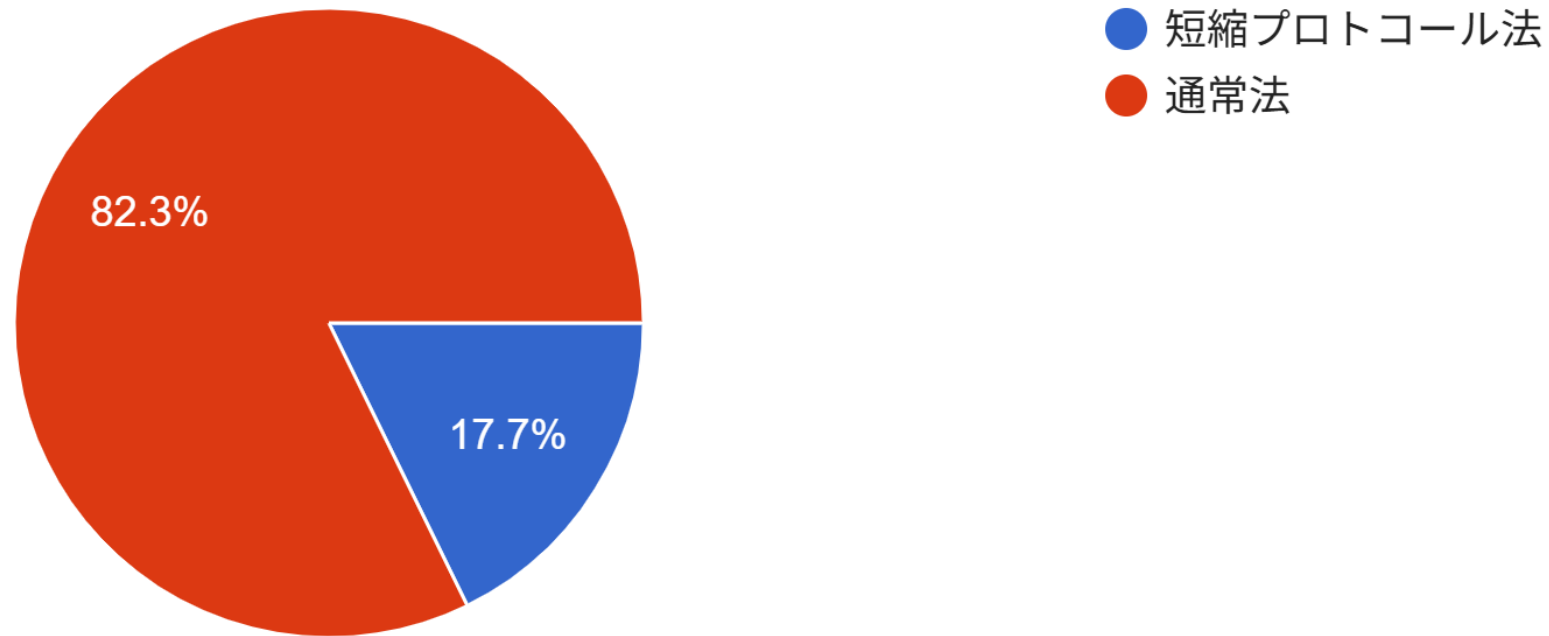


ディベートセッション後アンケート（集計）

短縮融解プロトコールに関する意向（回答 N=234 ）

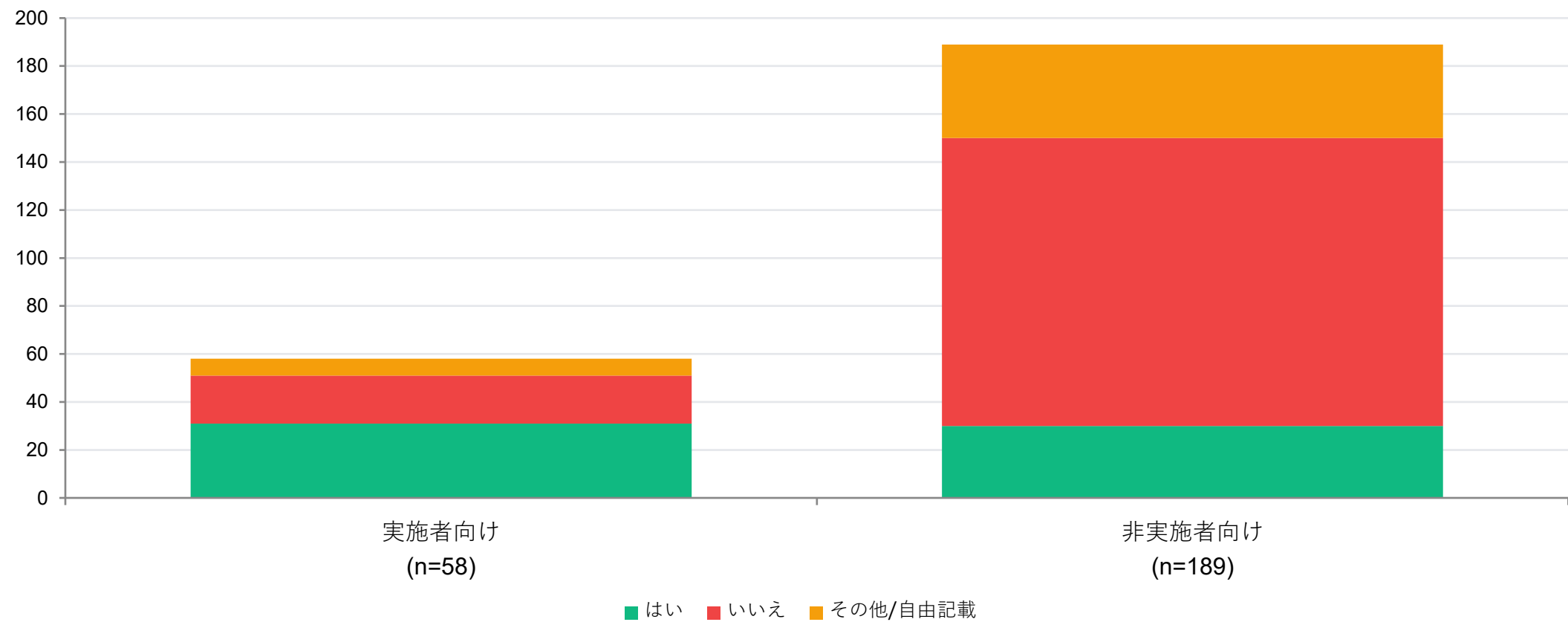
ディベートセッションを聞いてどちらの方法を使用したいと思いましたか？

231 件の回答



実施状況別：今後の利用意向（急速融解法を利用しますか？）

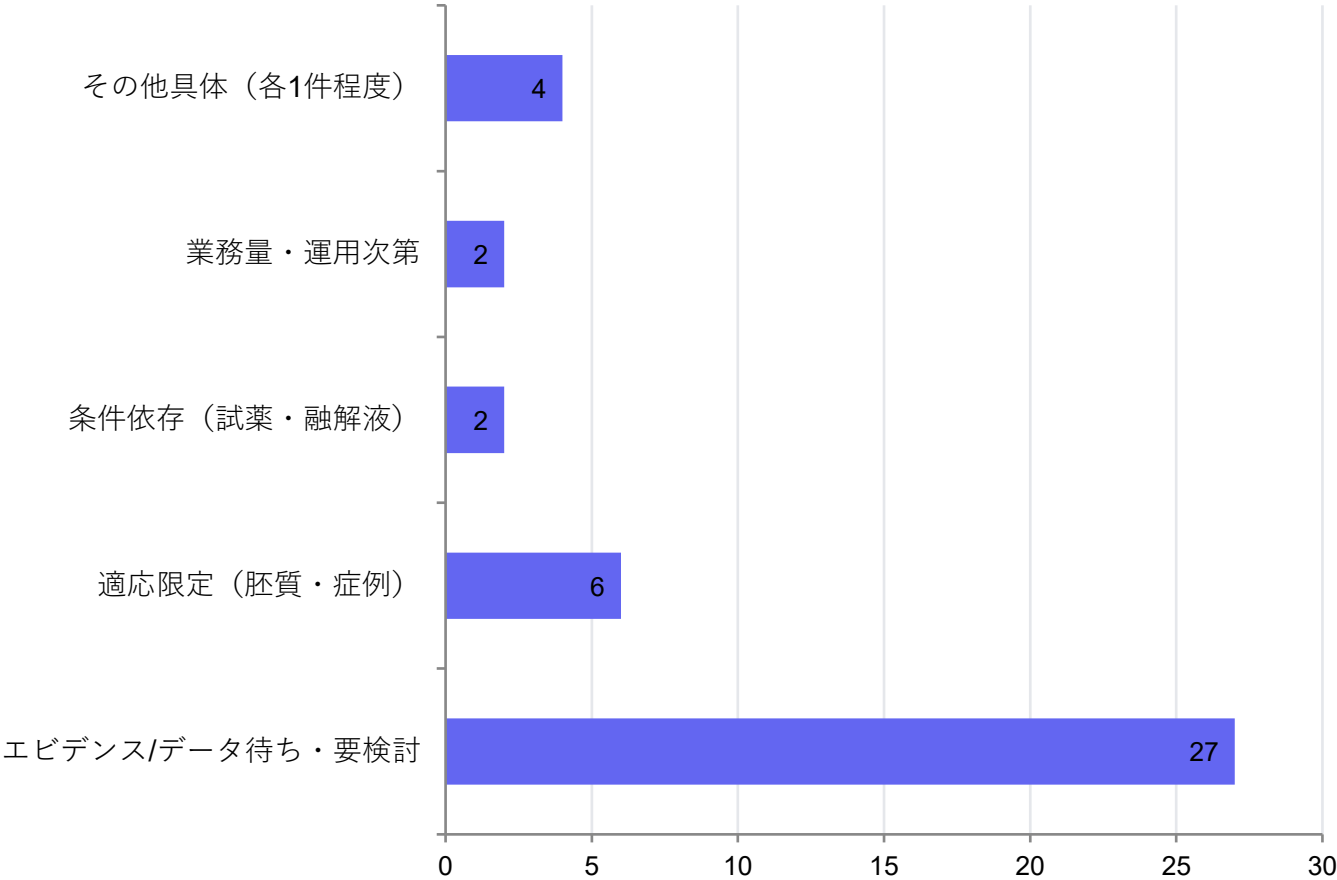
「実施している/していない」設問はフォーム分岐のため、各設問に回答した人を母数として集計



補足：分岐の影響で「両方の設問に回答」したケースが 25 件あり（集計の母数は各設問回答者数）。

非実施者では「いいえ」が多数。一方、実施者では「はい」が過半（ただし回答者n=58）。

自由記載（その他）に多い論点



代表的なコメント例

- 「データの蓄積を待って再検討」
- 「良好胚なら／胚グレードで使い分け」
- 「使用している試薬による」
- 「忙しくなったら検討」

アンケートまとめ

要点

- ディベート後の第一印象は「通常法」支持が多数（81.2%）。導入検討は“少数派の強いニーズ”の位置づけ。
- 非実施者は「いいえ」が多い一方で、「データ次第」「条件付き」の声も一定数。
- 急速融解の使用有無の論点は「エビデンス/安全性」と「適応（胚の質・症例）」。